

2025年3月22日
楽待株式会社

個性豊かな大家さんから不動産投資を学ぶ人気番組 「さらば青春の光 不動産王への道」シーズン3が開始

ファン待望のシーズン3、2025年3月22日に初回配信開始

本リリースのポイント

- ・YouTube「楽待 RAKUMACHI」で「さらば青春の光 不動産王への道」シーズン3が放送開始
- ・個性豊かな大家さんや専門家を迎え、さらばの2人と不動産投資を楽しく学ぶバラエティ番組
- ・第一回の放送では、総投資額170億円、大阪を拠点に活動する不動産投資家が登場



楽待株式会社（本社：東京都中央区、東証スタンダード、証券コード：6037）が運営する国内最大の不動産投資プラットフォーム「楽待」（<https://www.rakumachi.jp/>）は、YouTubeチャンネル「楽待 RAKUMACHI」にて、人気番組「さらば青春の光 不動産王への道」シーズン3の配信を2025年3月22日（土）より開始しました。

新シーズンでは東ブクロさんが一足先に不動産王に!?

「さらば青春の光 不動産王の道」は、「東ブクロさんのスキャンダルで仕事がなくなった時のために不動産投資で稼ぐ方法を学び、不動産王を目指す」という目的のもと、さらばの二人が不動産投資の知識を学ぶバラエティ番組です。

2023年12月から始まった本番組ですが、シーズン3を迎えるにあたり東ブクロさんはついに不動産を購入。さらば青春の光のマネージャーも不動産を購入する中、「株で負けまくってもうお金がない」と、まだ不動産を買っていない森田さん。



マンションを購入した東ブクロさんに対し「不動産王やな」と言う森田さん

そんなオープニングトークで始まったシーズン3の初回を飾るゲストは、大阪を拠点に活動する不動産投資家の岡越寛さん。大阪と神戸を中心に12棟の物件を所有し、14年間で購入した不動産の総額はなんと170億円。これまで購入した物件や投資実績、岡越さん流の大家術を学び、規模拡大の秘訣を伝授してもらいました。



図越さんオリジナルの団扇やカレンダー、ディフューザーをプレゼントされて大喜び!?

第二回以降も面白く勉強になる豪華ゲストが目白押しです。楽待のYouTubeチャンネルで配信しますので、ぜひチャンネル登録して更新をお待ちください。

YouTubeチャンネル「楽待 RAKUMACHI」

不動産投資をわかりやすく映像で伝えるチャンネルです。2017年5月から本格的に動画投稿を始め、2020年3月にチャンネル登録者数10万人を突破。その後も登録者数を伸ばし続け、2024年11月に100万人を突破しました。再生数100万回超えの長尺動画は現在39本で、UserLocal社が発表している[YouTube 企業公式ランキング](#)では、国内40位にランクインしています（2025年3月20日時点）

不動産投資の「楽待」概要

2006年3月に開設した「楽待」は、月間168万人が訪れる、使いやすさ・利用者数・掲載物件数No.1(*1)の不動産投資プラットフォームです。全国4900社の不動産会社が毎日物件情報を登録しており、ユーザーは自身の希望条件で絞り込んで、目当ての物件を探すことができます。

また、不動産投資専門メディア「楽待新聞」を通じ、業界のニュースや不動産投資の成功談・失敗談などを発信。YouTube「楽待 RAKUMACHI」はチャンネル登録者数111万人、総再生回数は4億7000万回にのぼります。（2025年3月時点）

不動産業界のDX（デジタルトランスフォーメーション）を促進するため、2020年6月には、不動産会社とオンライン通話ができる「ビデオ通話」機能もリリースしました。更に2022年6月には有料会員サービス「楽待プレミアム」を開始。登録することで、業界初(*2)の独自機能「賃貸経営マップ」やプレミアム会員限定動画が見放題になります。

「公正な不動産投資市場を創造する」というビジョンのもと、不動産投資家・加盟不動産会社の双方にとって使いやすい機能やサービスの提供に努めてまいります。

【会社概要】

楽待

社名：楽待株式会社

URL：<https://rakumachi.co.jp/>

上場市場：東証スタンダード（証券コード：6037）

本社：東京都中央区八丁堀三丁目3番5号 住友不動産八丁堀ビル5階

設立：2005年8月23日

事業内容：国内最大の不動産投資プラットフォーム「楽待」の運営

【本件の問い合わせ】

楽待株式会社 広報担当 尾藤

携帯電話：080-4129-5743

固定電話：03-6833-9438

E-mail：rakumachi@rakumachi.co.jp

*1 『物件数 No.1』：日本マーケティングリサーチ機構調べ（2022年12月）

『使いやすさ No.1』：ゴメス・コンサルティング調べ（2022年12月）

『利用者数 No.1』：自社調べ（2022年12月）

*2 自社調べ（2023年4月）

